

直方市学校規模適正化基本指針  
検討に係るアンケート

(教職員)

# ◎アンケートの概要

## アンケートの主な目的

直方市学校規模適正化基本指針の検討のために基礎資料として使用する。

直方市の子どものために、直方市にとってちょうど良い学校規模を検討するために、学校現場の教職員の方の教育環境に関する意識や考え方を把握する。

学校規模やクラス規模の、勤務経験や担任経験によって、意見に差異が生じるか、またどのような差異が生じるか、分析を行う。

## 教職員向けアンケート調査

- (1) 実施時期 令和5年10月23日から令和5年11月10日
- (2) 対象 市立小中学校の教職員
- (3) 回答数 294名

## このアンケートにおける言葉の定義

「小規模校」＝11学級以下（通常学級）

「標準規模校もしくは大規模校」＝12学級以上（通常学級）

「小規模クラス」＝20人以下

「標準規模以上クラス」＝21人以上

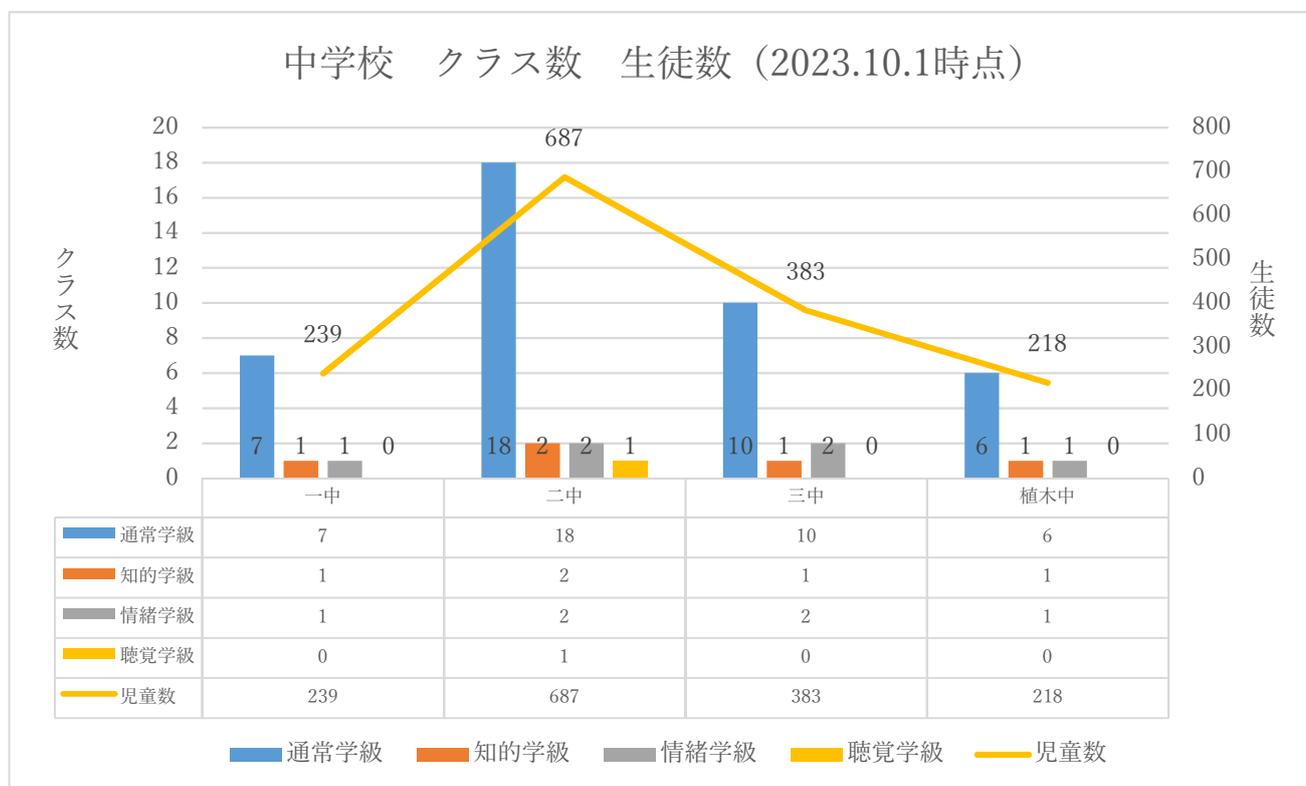
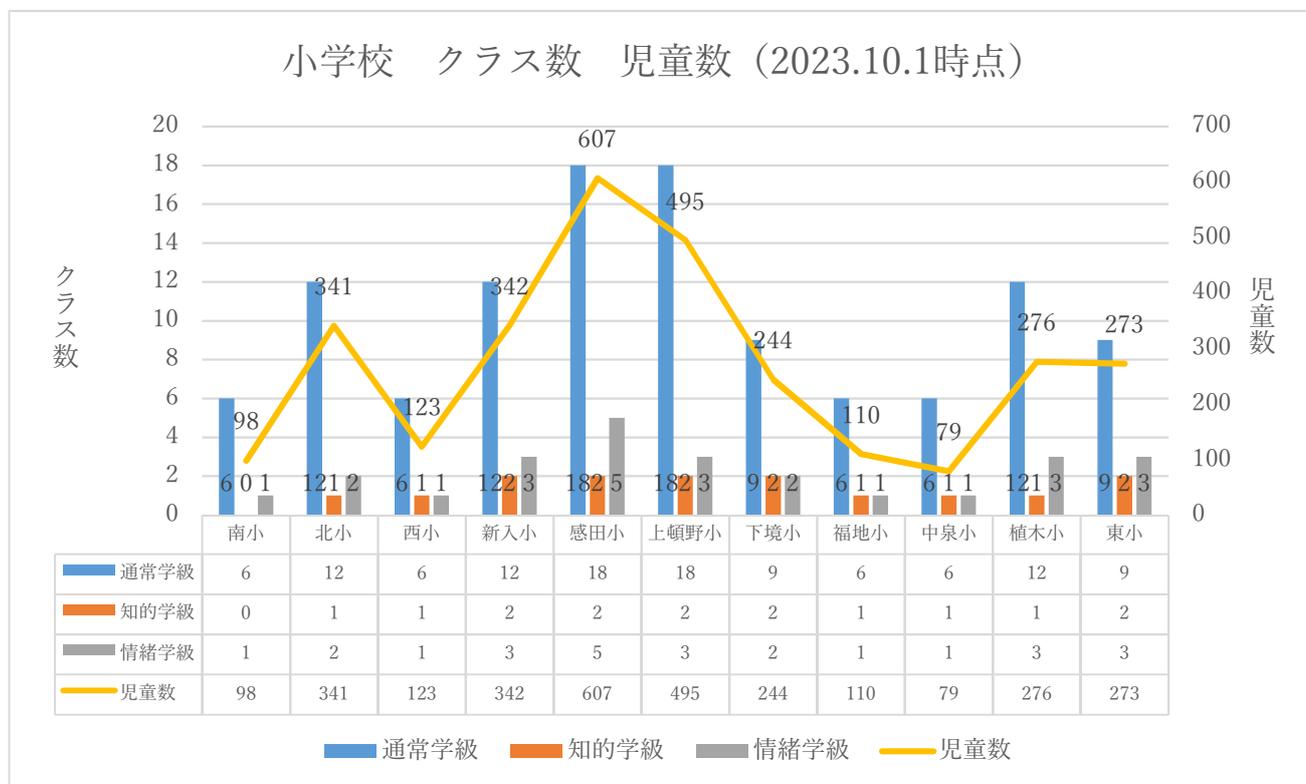
## 直方市立小・中学校の「小規模校」

南小、西小、下境小、福地小、中泉小、東小  
一中、三中、植木中

## 直方市立小・中学校の「標準規模校もしくは大規模校」

北小、新入小、感田小、上頓野小、植木小  
二中

現在の学校別学級数（令和5年10月1日時点）



直方市学校規模適正化基本指針検討に係るアンケート（教職員）

問1～問3：【回答者の属性】

■勤務している学校

(小学校)

南 小学校	北 小学校	西 小学校	新入 小学校	感田 小学校	上頓野 小学校	下境 小学校	福地 小学校	中泉 小学校	植木 小学校	東 小学校	合計
7	22	5	22	26	26	23	7	14	17	18	187

(中学校)

第一 中学校	第二 中学校	第三 中学校	植木 中学校	合計
22	41	25	19	107

■年齢

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	総計
83	70	43	74	24	294

■勤務経験

(学校規模)

「小規模校」でのみ	「標準規模校 もしくは大規模校」でのみ	両方での勤務経験がある	総計
50	80	164	294

(担任経験)

「小規模クラス」 でのみ	「標準規模以上クラス」 でのみ	担任の経験はない	両方での担任経験がある	総計
15	138	37	104	294

## 現在の勤務学校のこと

問4：現在勤務している学校の規模について、どう感じていますか。

クラス数についての感じ方をお答えください。

(小学校・中学校)

	小さいと感じる	大きいと感じる	適正だと感じる	総計
現在勤務している学校の規模について	56	77	161	294

(小学校)

	小さいと感じる	大きいと感じる	適正だと感じる	総計
現在勤務している学校の規模について	35	39	113	187

学校規模（クラス数）についての感じ方ー現在の勤務校との関係



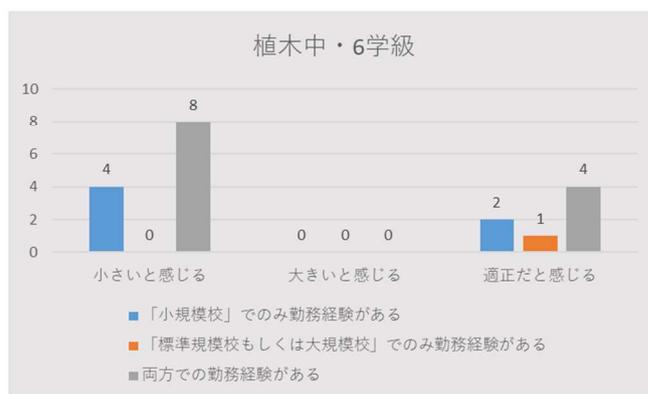
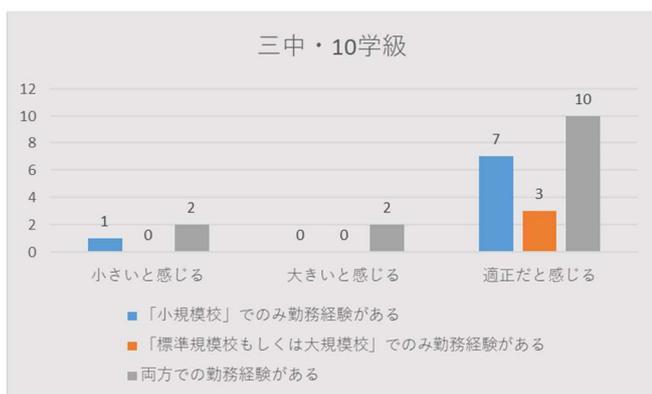
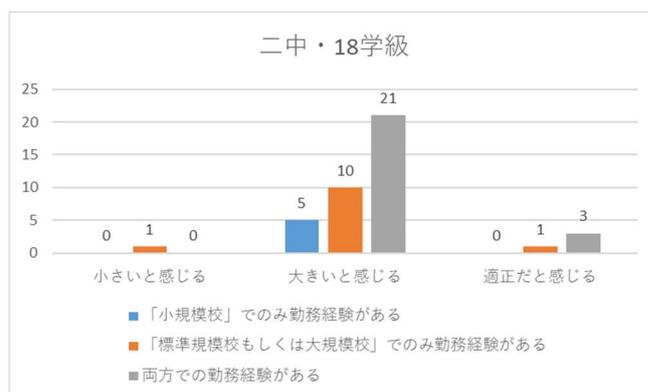
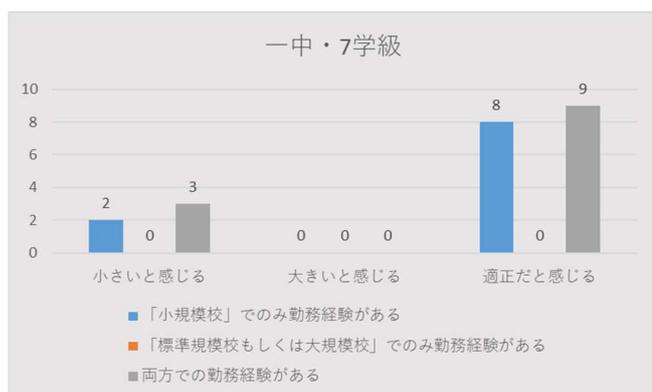
●同じ「小規模校（11 学級以下）」勤務の教職員でも、学校毎に感じ方の違いがあります。

直方市学校規模適正化基本指針検討に係るアンケート（教職員）

(中学校)

	小さいと感じる	大きいと感じる	適正だと感じる	総計
勤務している学校の規模について	21	38	48	107

学校規模（クラス数）についての感じ方ー現在の勤務校との関係



- 同じ「小規模校（11 学級以下）」の一中・三中・植木中について、  
一中と三中の教職員の感じ方は共通しており、植木中の教職員の感じ方は異なります。

## 問5：クラス規模のこと

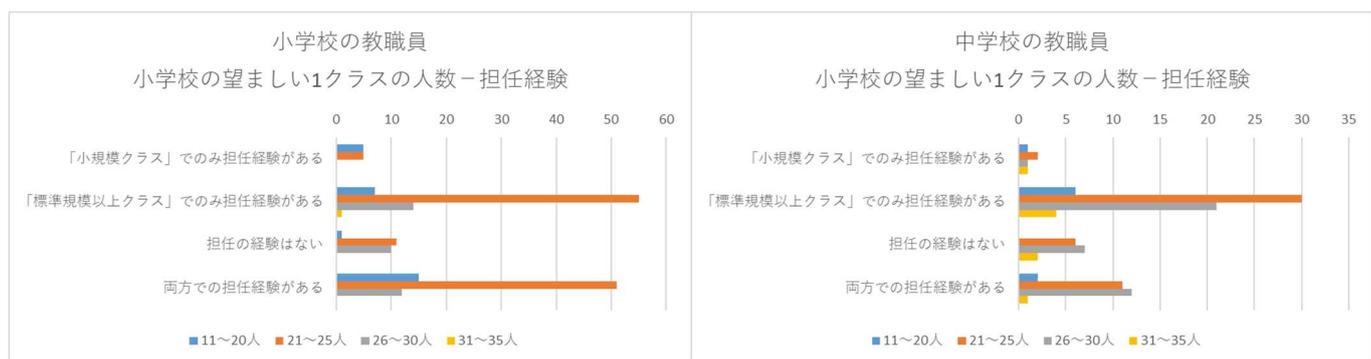
小学校の1クラスの人数はどの程度が望ましいと思いますか。

	11～20人	21～25人	26～30人	31～35人	総計
小学校の望ましい1クラスの人数	37	171	77	9	294



小学校の望ましい1クラスの人数（小学校の教職員の回答）	11～20人	21～25人	26～30人	31～35人	総計
「小規模クラス」でのみ担任経験がある	5	5			10
「標準規模以上クラス」でのみ担任経験がある	7	55	14	1	77
担任の経験はない	1	11	10		22
両方での担任経験がある	15	51	12		78
総計	28	122	36	1	187

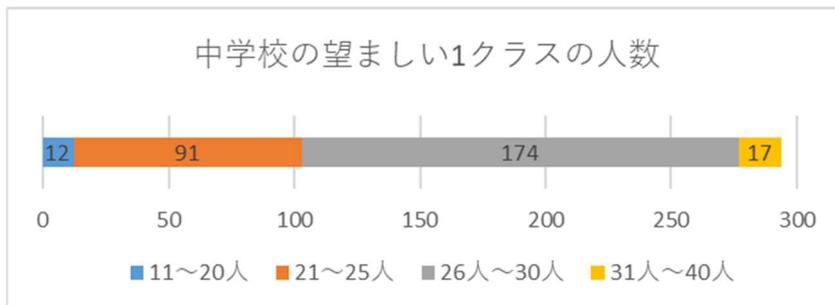
小学校の望ましい1クラスの人数（中学校の教職員の回答）	11～20人	21～25人	26～30人	31～35人	総計
「小規模クラス」でのみ担任経験がある	1	2	1		5
「標準規模以上クラス」でのみ担任経験がある	6	30	21	4	61
担任の経験はない		6	7	2	15
両方での担任経験がある	2	11	12	1	26
総計	9	49	41	8	107



●小学校の教職員が思う「小学校の望ましい1クラスの人数」は、21～25人が圧倒的に多いのに対し、中学校の教職員が思う「小学校の望ましい1クラスの人数」は、21～25人・26～30人が同数程度となっており、小学校の教職員と中学校の教職員の間に違いがあります。

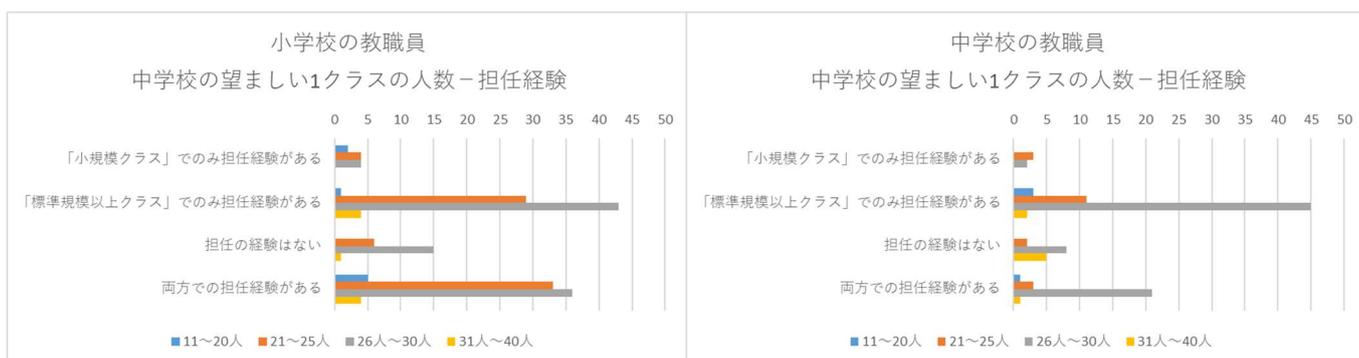
中学校の1クラスの人数はどの程度が望ましいと思いますか。

	11～20人	21～25人	26人～30人	31人～40人	総計
中学校の望ましい1クラスの人数	12	91	174	17	294



中学校の望ましい1クラスの人数（小学校の教職員の回答）	11～20人	21～25人	26人～30人	31人～40人	総計
「小規模クラス」でのみ担任経験がある	2	4	4		10
「標準規模以上クラス」でのみ担任経験がある	1	29	43	4	77
担任の経験はない		6	15		22
両方での担任経験がある	5	33	36	4	78
総計	8	72	98	9	187

中学校の望ましい1クラスの人数（中学校の教職員の回答）	11～20人	21～25人	26人～30人	31人～40人	総計
「小規模クラス」でのみ担任経験がある		3	2		5
「標準規模以上クラス」でのみ担任経験がある	3	11	45	2	61
担任の経験はない		2	8	5	15
両方での担任経験がある	1	3	21	1	26
総計	4	19	76	8	107



●小学校の教職員が思う「中学校の望ましい1クラスの人数」は、21～25人・26～30人が共に多いのに対し、中学校の教職員が思う「中学校の望ましい1クラスの人数」は、26～30人が圧倒的に多くなっており、小学校の教職員と中学校の教職員の違いがあります。

問6：小規模クラス（20人以下）の教育活動について  
（あなたの考えに近いもの1つを選択）

	そう屈わない	あまり屈わない	どちらでもない	少し屈う	そのとおりと屈う	総計
一人一人の状況を把握しやすく、 きめ細かな指導を受けやすい	7 2.4%	6 2.0%	10 3.4%	70 23.8%	201 68.4%	294 100.0%
意見や感想を発表できる機会が 多くなる	4 1.4%	7 2.4%	23 7.8%	90 30.6%	170 57.8%	294 100.0%
運動場や体育館、特別教室などが 余裕をもって使える	6 2.0%	11 3.7%	30 10.2%	75 25.5%	172 58.5%	294 100.0%
異年齢での学習活動を 組みやすい	9 3.1%	19 6.5%	54 18.4%	104 35.4%	108 36.7%	294 100.0%
体験的な学習や校外学習を機動的に 行うことができる	6 2.0%	6 2.0%	44 15.0%	115 39.1%	123 41.8%	294 100.0%
地域の協力が得やすく、地域の教育資源を 生かした教育活動がしやすい	10 3.4%	13 4.4%	90 30.6%	97 33.0%	84 28.6%	294 100.0%
クラブ活動や部活動の種類が 限定される	19 6.5%	33 11.2%	57 19.4%	118 40.1%	67 22.8%	294 100.0%
運動会・学習発表会等の集団活動・行事の 教育効果が下がる	75 25.5%	81 27.6%	67 22.8%	56 19.0%	15 5.1%	294 100.0%
体育科の球技や音楽科の合唱・合奏等の集団活動の 実施に制約が生じる	38 12.9%	60 20.4%	49 16.7%	120 40.8%	27 9.2%	294 100.0%
クラスでの班活動やグループ分けに 制約が生じる	60 20.4%	62 21.1%	58 19.7%	85 28.9%	29 9.9%	294 100.0%
児童生徒の問題行動にクラス全体が 影響を受けやすい	56 19.0%	49 16.7%	93 31.6%	67 22.8%	29 9.9%	294 100.0%

●一般的に、「小規模クラスのデメリット」と言われているものですが、考え方に違いがあります。

## 問7：小学校の学級数

小学校の1学年の学級数はどの程度が望ましいと思いますか。 ※普通学級

国の定める法令上、小学校の学級数は「1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準とする」となっています。

	1学級	2～3学級	4学級以上	総計
小学校の1学年の学級数はどの程度が望ましいと思いますか。	7	273	14	294
	2.4%	92.9%	4.8%	100.0%

### 1学級が望ましいと思う一番大きな理由

	一人一人の状況を把握しやすく、きめ細かな指導を受けやすい	意見や感想を発表できる機会が多くなる	運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える	異年齢の学習活動を組みやすい	体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる	異学年間の交流機会が多くなりやすい	地域の協力が得やすく、地域の教育資源を生かした教育活動がしやすい	家庭や地域の環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携しやすい	その他	総計
1学級が望ましいと思う一番大きな理由をお答えください。	5	1	0	0	0	0	0	1	0	7

### 2～3学級が望ましいと思う一番大きな理由

	児童生徒や教員との人間関係に配慮した学級編成ができる	クラス替えを機会とした新たな人間関係を構築する力を身につけられる	クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる	学級同士が切磋琢磨する環境を作ることができる	児童生徒の学級を分けることできめ細かな指導ができる	その他	総計
2～3学級が望ましいと思う一番大きな理由をお答えください。	128	72	21	23	26	3	273

### （その他）の理由

- 異なる視点から教育活動を考えることは必須であると考え複数学級が望ましいと考えます。4学級以上もかまわないと思いますが、学年の人数が150程度になるような調整が望ましいのではないかと個人的には思います。
- 若い先生が増えているので、一学級だと何をどうしていいのか、分からない事があると思う。経験した人と一緒にする方が、楽かなと思う。しかし、嫌な同学年は、困るけど??
- 同学年で授業進度や学習形態など、相互に確認しながら進めることができる。

### 4学級以上が望ましいと思う一番大きな理由

	児童生徒や教員との人間関係に配慮した学級編成ができる	クラス替えを機会とした新たな人間関係を構築する力を身につけられる	クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる	学級同士が切磋琢磨する環境を作ることができる	児童生徒の学級を分けることできめ細かな指導ができる	その他	総計
4学級以上が望ましいと思う一番大きな理由をお答えください。	3	5	2	2	2	0	14

## 問8：中学校の学級数

中学校の1学年の学級数はどの程度が望ましいと思いますか。 ※普通学級

国の定める法令上、中学校の学級数は「1学年あたり4～6学級（1学校あたり12～18学級）を標準とする」となっています。

	1学級	2～3学級	4～6学級	7学級以上	総計
中学校の1学年の学級数はどの程度が望ましいと思いますか。	2	165	118	9	294
	0.7%	56.1%	40.1%	3.1%	100.0%

### 1学級が望ましいと思う一番大きな理由

	一人一人の状況を把握しやすく、きめ細かな指導を受けやすい	意見や感想を発表できる機会が多くなる	運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える	異年齢の学習活動を組みやすい	体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる	異学年間の交流機会が多くなりやすい	地域の協力が得やすく、地域の教育資源を生かした教育活動がしやすい	家庭や地域の環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携しやすい	その他	総計
1学級が望ましいと思う一番大きな理由をお答えください。	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

### 2～3学級が望ましいと思う一番大きな理由

	児童生徒や教員との人間関係に配慮した学級編成ができる	クラス替えを機会とした新たな人間関係を構築する力を身につけられる	クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる	クラス同士が切磋琢磨する環境を作ることができる	児童生徒の学級を分けることできめ細かな指導ができる	その他	総計
2～3学級が望ましいと思う一番大きな理由をお答えください。	68	37	12	24	21	3	165

#### （その他）の理由

- 異なる価値観と子どもたちが会うことが大切であると考えなるべく多くの大人が関われる体制が望ましいと考えます。学年の人数が150程度になるような調整が望ましいのではないかと個人的には思います。
- 生徒数が多すぎると、移動するだけで時間を消費するから。
- 同学年で授業進度や学習形態など、相互に確認しながら進めることができる。

### 4～6学級が望ましいと思う一番大きな理由

	児童生徒や教員との人間関係に配慮した学級編成ができる	クラス替えを機会とした新たな人間関係を構築する力を身につけられる	クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる	クラス同士が切磋琢磨する環境を作ることができる	児童生徒の学級を分けることできめ細かな指導ができる	その他	総計
4～6学級が望ましいと思う一番大きな理由をお答えください。	49	25	11	24	9	0	118

### 7学級以上が望ましいと思う一番大きな理由

	児童生徒や教員との人間関係に配慮した学級編成ができる	クラス替えを機会とした新たな人間関係を構築する力を身につけられる	クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる	クラス同士が切磋琢磨する環境を作ることができる	児童生徒の学級を分けることできめ細かな指導ができる	その他	総計
7学級以上が望ましいと思う一番大きな理由をお答えください。	2	2	0	3	2	0	9

直方市学校規模適正化基本指針検討に係るアンケート（教職員）

問9：小規模校（11学級以下）の教育活動について  
（あなたの考えに近いもの1つを選択）

	そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そのとおりと思う	総計
一人一人の状況を把握しやすく、きめ細かな指導を受けやすい	6 2.0%	10 3.4%	59 20.1%	92 31.3%	127 43.2%	294 100.0%
意見や感想を発表できる機会が多くなる	8 2.7%	19 6.5%	58 19.7%	105 35.7%	104 35.4%	294 100.0%
運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える	6 2.0%	14 4.8%	37 12.6%	107 36.4%	130 44.2%	294 100.0%
異年齢での学習活動を組みやすい	11 3.7%	21 7.1%	75 25.5%	96 32.7%	91 31.0%	294 100.0%
体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる	11 3.7%	16 5.4%	69 23.5%	102 34.7%	96 32.7%	294 100.0%
地域の協力が得やすく、地域の教育資源を生かした教育活動がしやすい	12 4.1%	25 8.5%	89 30.3%	93 31.6%	75 25.5%	294 100.0%
クラブ活動や部活動の種類が限定される	26 8.8%	33 11.2%	64 21.8%	129 43.9%	42 14.3%	294 100.0%
運動会・学習発表会等の集団活動・行事の教育効果が下がる	58 19.7%	73 24.8%	88 29.9%	63 21.4%	12 4.1%	294 100.0%
体育科の球技や音楽科の合唱・合奏等の集団活動の実施に制約が生じる	37 12.6%	54 18.4%	67 22.8%	111 37.8%	25 8.5%	294 100.0%
児童生徒の問題行動に全体が影響を受けやすい	46 15.6%	57 19.4%	100 34.0%	68 23.1%	23 7.8%	294 100.0%
クラス替えがなく、多様な考え方に触れる機会が少なくなりやすい	27 9.2%	31 10.5%	55 18.7%	124 42.2%	57 19.4%	294 100.0%
クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない	45 15.3%	56 19.0%	65 22.1%	87 29.6%	41 13.9%	294 100.0%

問10：小規模校（11学級以下）の学校運営について  
（あなたの考えに近いもの1つを選択）

	そう思わない	あまり思わない	どちらでもない	少し思う	そのとおりと思う	総計
教職員間の意思疎通、連絡調整が円やすい	11 3.7%	17 5.8%	60 20.4%	107 36.4%	99 33.7%	294 100.0%
教員と児童生徒の関係を築きやすい	5 1.7%	11 3.7%	74 25.2%	116 39.5%	88 29.9%	294 100.0%
家庭や地域の環境等が把握しやすいため、保護者や地域と連携しやすい	9 3.1%	14 4.8%	80 27.2%	111 37.8%	80 27.2%	294 100.0%
経験年数や専門性、男女比等のバランスのとれた教員配置が困難となる	24 8.2%	44 15.0%	90 30.6%	96 32.7%	40 13.6%	294 100.0%
教職員1人あたりの負担が重くなり教材研究等の時間確保が困難となる	21 7.1%	34 11.6%	62 21.1%	101 34.4%	76 25.9%	294 100.0%
教員と児童生徒の心理的距離が近くなりすぎる	48 16.3%	73 24.8%	110 37.4%	50 17.0%	13 4.4%	294 100.0%

### 問 11：特に配慮すべきこと

学校の適正な規模や配置の検討にあたり特に配慮すべきことは何ですか

(3つ以内にチェック)

	クラス替えがで きる程度の児童 生徒数の確保	1学級における児 童生徒数の確保	通学（距離・方 法）とその安全 性の確保	学校施設・備品 等の充実	学校と地域のつ ながり	地域住民の意向	地域活動や防災 の拠点としての 役割	その他	総計
回答数	186	121	128	183	66	27	12	6	729

(その他) の記載

- ・教職員の数
- ・人員（教職員）の確保
- ・教員の人数確保
- ・地域の文化、学校の文化を壊さないこと
- ・1学級あたりの人数の適正化を図って欲しいです。問題は学級数ではなく、学級の人数が多かったり、少な  
かったりすることです。地域の実情（厳しさ）を踏まえ、20人前後にすべきだと考えます。
- ・こどもたちに関わる教員数の確保、教員同士のノウハウの共有検討のシステム

### 問 12：学校に期待されるもの

今後、学校に期待される役割や機能のうち特に重要なものは何ですか

(3つ以内にチェック)

	児童生徒が快 適に学べる環 境	地域の文化・ スポーツの活 動拠点	地域の防災拠 点	地域住民の活 動・交流拠点	児童生徒の放 課後の居場 所・活動場所	子育て支援の 拠点	高齢者福祉の 拠点	生涯学習活動 の拠点	その他	総計
回答数	274	60	52	53	74	56	6	53	3	631

(その他) の記載

- ・児童生徒の心の支援、居場所づくり
- ・防犯対策 インターホンや防犯ベルなど
- ・学校を拠点とした「児童の成長」「保護者の豊かな生活」「教職員の働きがい」